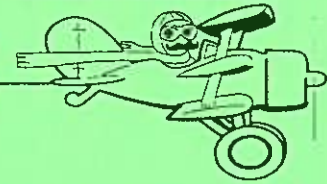


今回のテーマ

定期保険について(2)



* 今回も前回に引き続き経営者保険（定期保険）について検討しましょう。一般に生命保険は、現在契約を解約して新規に加入されると、損をすることが多い傾向があります。その理由として、次の3点が考えられます。

- ① 既契約時点より年齢が高くなっているため、保険料は高くなる。
- ② 健康状態の悪化によって、保険料割増等の危険性がある
- ③ 近年の予定利率低下に伴い、新規加入は不利になることが多い。

ただし、法人契約でよく利用される定期保険（特に短期のもの）は、「③予定利率」について、あまり考慮する必要はないでしょう。不景気のなかで生命保険の見直しを検討なさる場合、定期保険部分で必要保障額を合理的にカバーしておかれることをお勧めします。

定期保険には、前回ご紹介した「変換」以外にも、

- 1. 保険期間短縮 保険料は安くなりますが、保障は短期間になります。
- 2. 保険期間延長 保険料は高くなりますが、保障が長期間になります。



これらの変更により、御社にフィットした保険契約に変化させることが可能です。

* 新規加入検討と同様に、現在ご加入契約見直しを有効に生かしましょう

ただし、保険会社により、その取り扱いには違いがありますので、注意が必要です。私どもでは、皆様のお役に立つべく情報提供をすすめてまいります。ご遠慮なくご相談ください。

今回も前回に引き続き定期保険を取り上げてみました。実際にご自身のケースに置き換えて考えてみるとよいでしょう。生命保険の有利不利や損得勘定をすることは、なかなか難しいものです。具体的なご相談に応じますので、お気軽にお声をかけてみてください。



担当 渋谷 洋子